

## 総合部会（第3回）の意見概要

日 時 : 平成27年6月25日(木) 午前10時～12時  
場 所 : 茨城県薬剤師会館 3階大会議室  
出席者 : 委員 14名ほか

### 1 全体構成について

- ・「生活大県」位のキーワードがあると全体が締まる。時代の潮流で危機感をあおるのは良いが、それだけでは無く、変えていく茨城、日本をリードする茨城といった面を表現できると良い。

### 2 基本構想について

- ・政策毎に将来像が示されたので、分かりやすくなった。
- ・政策名は短い言葉で示した方が良い。もう少し具体的な言葉を使うように。
- ・政策名は、全国どこでも同じなので、茨城らしいキーワードが欲しい。
- ・基本理念として「みんなで創るみんなのいばらき」はどうか。

### 3 政策展開の基本方向について

#### (1) 人が輝くいばらき

- ・将来像の「知・徳・体」は少し古い。「生きる力」ではどうか。
- ・「知・徳・体」は古いといわれるが、1周回って時代の最先端ではないか。
- ・過去・現在を知り、未来を考えるという視点で将来像を検討して。
- ・茨城の弱みは、地域に対する誇りや知識の欠如、地域が育んできた歴史に目を向けていないこと。地域学をしっかりと教えるべき。地域に根を張るからこそ世界に羽ばたける。
- ・施策として「地域を知り世界を志向するグローバル人材」とあるが、地域を知る事をより強調するため、地域と国際で施策を分けた方が良い。

## (2) 活力あるいばらき

- ・起業しやすい環境づくりや、弱い観光面への対策を強調して欲しい。
- ・弱みを強みにする施策が必要。
- ・新たな国土形成計画中間とりまとめにある「対流」を起こすことが必要。
- ・「対流」は、温度差が必要。地域の特性が違うから対流が起こる。
- ・県を知ることが大切。誇りを持つことで発信、対流に繋がる。  
中小企業は、技術連携が弱いので県が支援して欲しい。
- ・政策の「力強い産業づくり」の内容が従来型の中小企業支援となっている。  
農林水産業や新エネルギー等も加えて再整理すべきでは。

## (3) 住みよいいばらき

- ・地域包括ケアを、複数の施策で主な取組としているので、整理が必要。
- ・高齢者の移住が言われているが、元気なうちに移住してもらって、地域の活力に貢献してもらいたい。
- ・政策の将来像の「高齢者に安心な環境」について、障害者の視点も入れて「年をとっても、障害があっても安心な環境」としてはどうか。また、福祉サービスに携わる人材育成も必要。
- ・政策等の柱立てについて、切り口が明確で、分かりやすい。
- ・地域の実情、特性に応じた対応が必要。それを県は後押しして欲しい。

## 4 地域づくりの基本方向について

- ・目指すべき地域の姿について、人を主体に考えて「心豊かな生活ができる地域」ではなく、「豊かな活動ができる地域」が良い。
- ・地域間競争を勝ち抜くには、ブランド化や競争力強化という視点が必要。
- ・他には無い価値やそこにしかないものを明確化する必要がある。
- ・ゾーン横断の取組で県北が目立たない。色々な所に光が当たるようにして欲しい。

## 5 重点プロジェクトについて

- ・地域医療充実PJとあるが、医療だけではなく介護も入れて欲しい。
- ・地域医療充実PJについて、今後は、病気にさせない予防も大切である。
- ・農業のPJは無いのか。 → 地方創生PJで整理している。(事務局)

## 6 計画推進の基本姿勢について

- ・「地域資源」の活用だけでなく、頑張っって発掘しなければならない。
- ・みんなに理解してもらうため、総合計画の小学生版を作っってはどうか。